



NATIONAL INSTITUTE OF RADIOLOGICAL SCIENCES

4-9-1 Anagawa, Inage-ku, Chiba 263-8555, JAPAN

TEL : 043-206-3002

FAX : 043-206-6282

E-mail : tsujii@nirs.go.jp

平成 22 年 5 月 17 日

各位 様 :

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私ども放射線医学総合研究所（放医研）においては、放射線科学分野において世界最先端の研究を行うことを目的に、2008 年 11 月に「国際オープンラボラトリー」が開設されました。本年度は、放医研の第Ⅱ期中期計画が終了することも重なっているため、国際オープンラボラトリーの第Ⅰ期事業も一応の終了となります。

そこで放医研では、6 月 11-12 日に、国内外から 11 名の著名な研究者をお招きして「放射線生命科学に関する放医研国際シンポジウム」を開催することになりました。国際オープンラボラトリーが開設されてわずか 1 年半少々ではございますが、将来につながる成果が幾つか創出されております。シンポジウムの内容は次の通りです。

- | | |
|-------------|--|
| 6 月 11 日（金） | 「国際オープンラボラトリーの成果報告」とその評価
「創成的研究 2 課題の成果報告」とその評価 |
| 6 月 12 日（土） | 特別講演会 |

第 1 日には、「国際オープンラボラトリーの成果報告」に加えて、放医研の将来の基幹研究となることが期待されている「創成的研究 2 課題の成果報告」並びに質疑応答を実施し、同時に研究成果に対する評価を 11 の著名な研究者によって行ってもらうことにしています。これらの研究成果は、放射線の基礎と応用に関するもので、専門家はもとより、一般の方にとっても興味をもってもらえるものと思っております。第 2 日目は、11 名の著名な研究者によって、放射線の物理学的・生物学的影響の分子レベルでの解析、あるいは臨床応用に至る幅広い分野のご講演をして頂くことにもなっております。

シンポジウムの詳細は添付プログラムをご覧ください。本シンポジウムは、放医研では今だかつてない質の高いものになるものと期待しているところです。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

敬具

独立行政法人放射線医学総合研究所
国際オープンラボラトリー・ディレクター 辻井博彦

事務局：国際オープンラボラトリー 運営室
電話：043-206-3962
FAX: 043-206-3371
E-mail: open_unei@nirs.go.jp